

平成28年2月5日

保護者の皆様
地域の皆様

仙台市立燕沢小学校
校長 佐藤 由美

平成27年度 燕沢小学校をよりよくするアンケートの集計結果について

向春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、遅くなりましたが、「平成27年度燕沢小学校をよりよくするアンケート」の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。保護者の皆様には快くアンケートにご協力いただき深く感謝いたします。また、2月10日に行われる学校評議員・関係者評価委員会においても報告し、ご意見をいただきながら、次年度の教育活動を充実させてまいります。

今年度も残りあとわずかとなりましたが、変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

【保護者アンケートの集計結果】

No.	内容	A	B	C	D
1	お子さんは進んであいさつをしていますか	31.9	46.0	20.7	1.4
2	お子さんは元気よく外で遊んでいますか	46.2	33.9	17.3	2.5
3	お子さんは家庭学習に進んで取り組んでいますか	30.4	41.3	22.8	5.4
4	お子さんは人の話をよく聞いていますか	16.2	58.1	24.9	0.8
5	お子さんは相手の気持ちを考え思いやりをもって行動していますか	29.6	58.1	12.3	0.0
6	お子さんは何事にも最後まであきらめずに取り組んでいますか	22.5	53.3	23.6	0.7
7	ご家庭ではお子さんが規則正しく生活が送れるように気をつけていますか	29.5	62.5	7.3	0.7
8	ご家庭では正しい言葉遣いをするよう気をつけていますか	25.5	62.0	11.0	1.5
9	ご家庭ではお子さんの友人や遊びの様子を知っていますか	32.1	58.4	9.1	0.4
10	ご家庭では気持ちのよいあいさつをするよう気をつけていますか	40.6	54.7	4.3	0.4
11	学校は教育方針や教育目標を分かりやすく伝えていますか	27.9	65.4	6.1	0.7
12	学校は一人一人に豊かな心やよりよい人間関係を育むための指導を進めていますか	20.9	62.3	14.2	2.6
13	学校は一人一人の子供を大切に、よさや可能性を伸ばそうとしていますか	23.0	59.1	15.2	2.6
14	学校は保護者と連携・協力して教育を進める機会を多く設けていますか	32.7	58.1	8.8	0.4
15	学校は保護者・地域と連携した安心・安全な学校づくりを進めていますか	40.1	56.9	2.2	0.7

* A：そう思う B：大体そう思う C：あまりそう思わない D：全くそう思わない

* 数値は%を表しています。

* 枠内が薄く塗られた項目は、グラフ化した協働型学校評価の重点目標の内容になります。

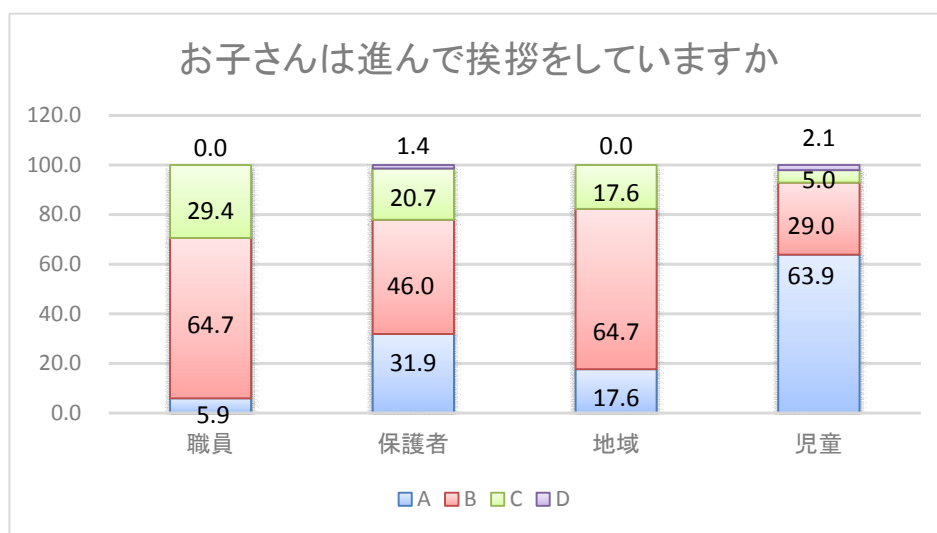
【地域アンケート集計結果】

No.	内容	A	B	C	D
1	子供たちは進んで挨拶をしていますか	17.6	64.7	17.6	0.0
2	子供たちは元気よく外で遊んでいますか	23.5	47.1	29.4	0.0
3	子供たちは人の話をよく聞いていますか	0.0	75.0	25.0	0.0
4	子供たちは相手の気持ちを考え、思いやりをもって行動していますか	0.0	62.5	37.5	0.0
5	地域の皆様は子供たちの遊びの様子を知っていらっしゃいますか	6.7	40.0	46.7	6.7
6	地域の皆様は子供たちと挨拶を一声かけていただいていますか	41.2	58.8	0.0	0.0
7	学校は教育方針や教育目標を分かりやすく伝えていますか	76.5	17.6	5.9	0.0
8	学校は一人一人に豊かな心やよりよい人間関係を育むための指導を進めていますか	58.8	35.3	5.9	0.0
9	学校は保護者・地域と連携して教育を進める機会を多く設けていますか	82.4	11.8	5.9	0.0

＊職員も同様のアンケートを採っております。職員アンケートの結果については、紙面の都合上、学校ホームページに掲載いたしましたので、そちらをご覧ください。

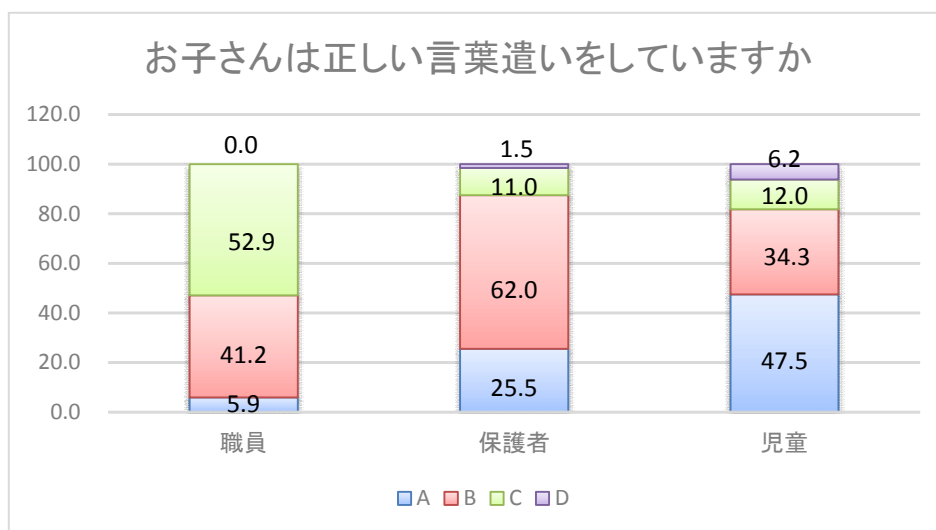
【今年度の協働型学校評価の重点目標の結果について】

重点目標「進んで挨拶」



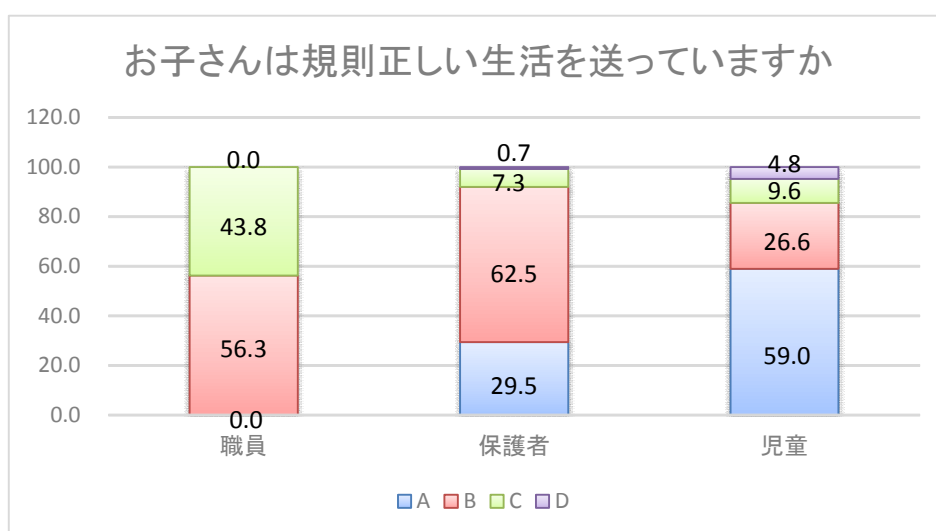
- ・「挨拶」については、職員はAとBをあわせると70%の結果が出ています。保護者の皆様はA、Bあわせると77%の結果です。地域の皆様はA、Bあわせると82%の結果が出ています。「挨拶」について保護者の皆様、地域の皆様、職員との間で若干の違いは見られるものの、ほぼ同様の結果となっています。
- ・子供たちには進んで挨拶することの大切さを指導しながら、同時に私たち大人も進んで子供たちに声をかけていくことが必要だと考えています。今後ともご協力をお願いいたします。

< 重点目標「場に応じた言葉遣い」 >



- ・「言葉遣い」については、職員はAとBをあわせると47%の結果となっています。保護者の皆様はA、Bあわせると87%の結果が出ています。職員と保護者の皆様との間で大きな違いが見られます。
- ・学校と家庭とで大きな差が見られますが、それぞれの環境が大きく違っていることが原因と考えられます。家庭とは違い学校では多くの子供たちとともに生活しており、コミュニケーションの取り方の未熟さから言葉遣いが乱暴になっていることも見受けられます。よりよいコミュニケーションの取るためのスキルを学ばせ、場に応じた言葉遣いができるようにしていきます。

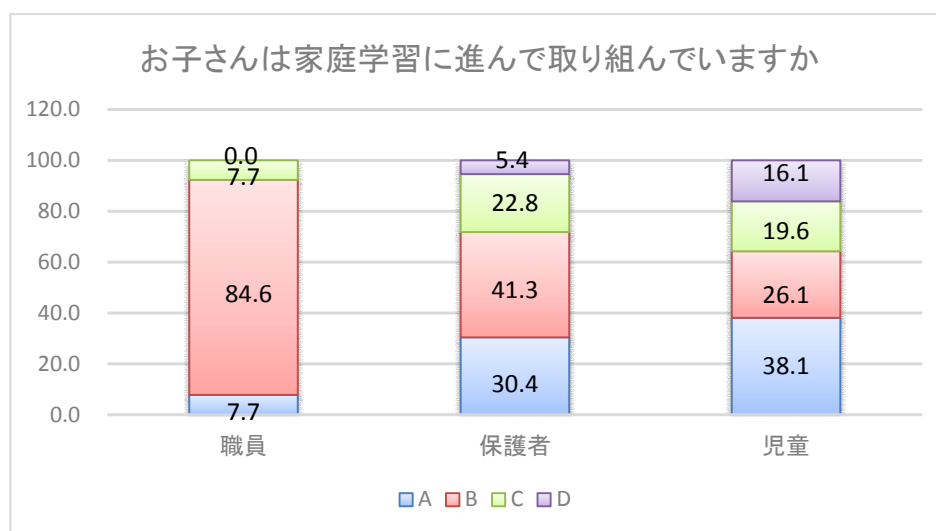
< 重点目標「はやね、はやおき、朝ごはん」 >



- ・「規則正しい生活」については、職員はAとBをあわせると56%の結果となっています。保護者の皆様はA、Bあわせると92%の結果が出ています。「規則正しい生活」についても職員と保護者の皆様との間で大きな違いが見られます。
- ・学校は社会性を育てる場であり、集団生活上、守らなければならないきまりがあります。「チャイム着席」などがその例に当たりますが、児童へ継続して指導をしていきます。また、「学校だより12号」でもお伝えいたしましたが、「ぐっすりすいみんデー」の目標

達成率の向上を図りたいと考えております。睡眠は全ての活動の基本となるもので、しっかりと寝ることが学習活動の充実にもつながります。「よい習慣づくりカード」と「ぐっすりすいみんデー」への取組に対して、引き続きのご協力をお願いします。

< 重点目標「家庭学習の習慣化」 >



- ・「家庭学習」については、職員はAとBをあわせると90%の結果が出ています。保護者の皆様はA、Bあわせると70%の結果で、職員と比べ比較的厳しい見方をしています。
- ・学校では、宿題を毎日出題しています。その提出率の高さが職員のアンケート結果につながっていると考えられます。保護者の皆様のアンケートの結果が職員よりも厳しい結果となったのは、「進んで」取り組むことについて課題を感じていらっしゃると思われます。児童のアンケート結果もAとBをあわせて約60%の結果となっており、家庭学習に進んで取り組ませる手立てを考えていく必要があります。学校と家庭とで児童の取組の様子を具体的に褒めること、学校では宿題の内容を工夫すること、ご家庭におかれましては家庭学習に取り組みやすい環境を整えていただくことなど、方法を模索していきたいと思ひます。

【次年度に向けて】

協働型学校評価の重点目標の項目以外では、職員は「学習と生活のルール」「思いやり」について、保護者の皆様は「話を聞く」「あきらめずに取り組む」について課題が多いととらえています。

このような今年度のアンケートの結果を受けて次年度においては、児童に徹底させていく指導内容を明確化し、全職員で共通して指導に当たっていきたくと考えております。児童にも目指す姿をきちんと示し、「燕沢小学校では～します」としっかりと理解させていきます。成長した児童の姿が学校でも、家庭でも、地域においても目に見える形でしっかりと表れるように根気強く指導していきます。指導の成果を職員で定期的に確認し、評価・反省をしていきたいと考えています。児童にしっかりと寄り添い、頑張っている姿やできるようになったことを褒めたり、改めさせるところは毅然とした態度で指導することを全職員で共通して徹底していきます。

次年度の重点目標や手立てについては、新学期以降にご提案いたしますが、保護者の皆様のご協力がなければ課題の克服は難しいと考えています。学校の教育活動は保護者の皆様のご協力と地域の皆様のご支援があつて成り立ちます。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

【ご意見欄】

※学校をよりよくするために、保護者の皆様、地域の皆様よりいただいたご意見です。紙面の都合上、主なものを取り上げさせていただきました。

○子どもが当番制で校門のところで挨拶していく習慣を付けてはどうでしょう。

→今年度、児童会の「ふれあい委員会」で、西側階段下と校門で6名ずつに分かれてあいさつ運動を行っています。より活発な活動になるよう来年度工夫をして生きたと思います。ご意見ありがとうございます。

○先生に差を感じるときがあるので、指導力を統一していただければと思います。

→【次年度に向けて】の中で述べたとおり、児童に徹底させる指導内容を明確にして、全職員で共通して指導に当たるとともに、児童にも目指す姿をきちんと示して、指導の成果が目に見えるようにしていきます。

○我が子ですが、先生やクラスメイトに対する態度や言葉遣いがひどいと思うことが多々あります。これは、学校ではなく、家庭で指導しなければならないことですが、学校で過ごす時間が長いので、家庭、学校共に指導をしていけば少しずつ改善されていくと思います。

→このご意見につきましても前述したとおりです。学校では多くの児童がともに生活しており、コミュニケーションの取り方の未熟さから言葉遣いが乱暴になっていることが見受けられます。子供同士のよりよいコミュニケーションの取り方をまず指導し、場面ごとに見られた言動については、その都度適切に指導をしていきます。ご家庭におかれましてもご協力をいただき、学校と家庭と連携して児童を育てていきたいと思います。

○子ども110番がどこにあるのか子供たちは分かっているのでしょうか。

→燕沢学区校外補導委員会でかけこみ110番に登録されている個人の方々と商店等についてお知らせしてあります。校外補導委員会は燕沢学区の各地区の皆様が参加されており、地区の行事や集まり等を通してお知らせする機会もあるかと思います。必要があれば各地区の校外補導委員の方におたずねください。なお、「かけこみ110番の店」につきましては次の学校日よりお知らせしたいと思います。

○地域の人たちに学校に足を運んでいただく、子供たちの様子を見ていただく機会を作る。保護者の理解と話し合う場を持つ。

→本校では、学校評議員・関係者評価委員の皆様や学校支援地域本部の皆様をはじめ、各地域の皆様にお出でいただき、学校での児童の様子について参観をいただいております。また、定期的な参観だけでなく、自由にお出でいただき、児童の様子をご覧いただいております。学校は常に参観ができる状態にしておりますので、いつでもご来校いただきたいと思います。なお、ご来校の際は事前に連絡をいただき、教室に向かう前、職員室に一声かけてくださるようお願いいたします。来校者カードをお渡しします。

保護者の皆様が話し合う場として懇談会を2回設けております。是非、この懇談会を教育活動を理解する場として活用していきたいと思います。

○児童のおじいちゃん、おばあちゃんを学校に招待して一緒に何かをするというのはどうでしょうか（児童が企画して）

→今年度は収穫祭で、地域でお世話になった方々をお呼びして、餅つき体験学習や総合的な学習の発表会を行いました。ふれあいを通して児童の心を育てることをねらいとした行事等を模索することも可能と思われます。貴重なご意見ありがとうございます。